

## 研究指向型SU受入gPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2024年06月11日 ～2024年06月19日	日本	シラバコン大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子工学科、先端電子工学コース</li> <li>学部3年生、学部4年生</li> </ul>	(芝浦工業大学) 学生11名、学生バイト7名、 教員4名 (シラバコン大学) 学生10名、教員2名	石川 博康(電気電子工学課程 先端電子工学コース)、上 野 和良(電気電子工学課程 先端電子工学コース)、小池 義和(電気電子工学課程先 端電子工学コース)、横井 秀樹(電気電子工学課程先 端電子工学コース)



図1 フィールドトリップ

電気電子工学課程、先端電子工学コースの受入型グローバルPBLとして、ナノエレクトロニクス・フォトニクス分野、情報・バイオエレクトロニクス分野における実習活動に、タイのシラバコン大学(SU)の学生と本学の学生が共同で取り組んだ。ナノエレクトロニクス・フォトニクス分野あるいは情報・バイオエレクトロニクス分野の最先端の研究に触れるとともに、他国の学生との共同作業を通じて様々な価値観を学ぶことがgPBLの目的である。今年度は、本学の学生2～4名、SUの学生2～3名でグループを構成し、参加教員の研究室において研究分野の現状について学び、基礎的な研究ルーチンを実践し、今後の研究課題について議論した。最後に、実習活動で得られた知見について、グループ毎にプレゼンテーションを行った。実習活動は、集積光デバイス研究室(光学モデル作製・シミュレーション、評価等)、半導体エレクトロニクス研究室(機能薄膜作製、評価等)、ナノエレクトロニクス研究室(機能薄膜作製、評価等)、電子機械システム研究室(音響工学)の4研究室で実施した。



図2 Ploybussara先生のご挨拶



図3 実習1



図4 実習2



図5 最終発表